



かまくら好日  
 「雪にけむる鶴岡八幡宮」  
 撮影者：加藤 英夫

## 12月定例会開催 12月3日～12月18日 緊急経済対策を含む一般会計補正予算など諸議案を審議

- ### 12月定例会の主な動き
- 14人の議員により一般質問が行われる ……2・3面
  - 陳情3件を採択 ……3面
  - 条例改正、補正予算など諸議案を審議 ……4面
  - 議会全員協議会が開催される ……4面
  - 特別委員会の動き ……4面

2月定例会は2月18日(水)に開会予定です

### 写真を募集しています！

「かまくら議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています！

応募資格：市内在住、在勤問わず、どなたでも応募できます。(ただし個人に限ります)

メーンテーマ：「かまくら好日」

応募方法などについては、議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。  
 電話 0467(23)3000 内線 2448

### 主な議案の議決結果

議案	議決結果	会派名						無所属
		共産	ネット	同志	公明	かまくら民主	民	
鎌倉市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○
鎌倉市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	○	○
鎌倉市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決	●	○	○	○	○	○	○
平成20年度鎌倉市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について(鎌倉市子育て支援センター)	可決	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

《各会派の所属議員は次のとおりです》(○印は代表者)

共産(日本共産党鎌倉市議会議員団)：○吉岡 和江、赤松 正博、小田嶋敏浩、高野 洋一  
 ネット(神奈川ネットワーク運動・鎌倉)：○森川 千鶴、三輪裕美子、石川 寿美、萩原 栄枝  
 同志(鎌倉同志会)：○伊東 正博、野村 修平、助川 邦男、前川 綾子  
 公明(公明党鎌倉市議会議員団)：○大石 和久、藤田 紀子、納所 輝次  
 かまくら民主(かまくら民主の会)：○中村聡一郎、久坂くにえ、山田 直人  
 民主(民主党鎌倉市議会議員団)：○岡田 和則、早稲田夕季、渡邊 隆

無所属：千 一、松中 健治、原 桂、本田 達也、高橋 浩司

【会派とは】議会内で基本的に同じ政策(市政に対する考え方、意見など)を持つ議員の集団をいいます。本市議会では、代表質問を行ったり議会運営委員会の委員となる、いわゆる議会運営上の交渉会派は所属議員2人以上としています。

# 一般質問

12月定例会では14人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずねるもので、下の表のとおり質問を行いました。ここではその一部を掲載しました。  
 ※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会が抜粋し、事項別に整理掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは2月上旬作成予定の議会録を図書館やインターネットでご覧ください。インターネットを利用する場合は「かまくら GreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。また鎌倉市議会ホームページの議会録中継システムから、録画映像も見られますのでご利用ください。

岡田 和則	「石渡市長の政治姿勢について」
納所 輝次	「青少年育成について」
本田 達也	「鎌倉市における契約のありかたについて」
山田 直人	「市民連携について」○行政経営戦略プランに関連して○先進事例に関連して○コミュニティの活性化について○コミュニティ形成の現状に関連して○コミュニティの今後に関連して
吉岡 和江	「景気対策について」
早稲田 夕季	「まちづくり」○交通政策について○景観とまちづくり○建築紛争の予防と対応「教育の諸課題」○特別な支援を要する児童・生徒への取り組み○少人数教育の充実○教育支援
原 桂	「教育諸問題について」
高野 洋一	「住宅政策について」
三輪裕美子	「青少年活動支援」「地域福祉のネットワーク」
高橋 浩司	「市長の政治姿勢について」「行財政改革について」「モノレールのホームの安全確保とバリアフリー化について」「身体障がいを含む障がいのグループホームについて」「災害時の要介護者の介護者確保について」
千	「子どもをめぐり環境について」「子どもをめぐり環境について」
久坂くにえ	「子どもをめぐり環境について」
前川 綾子	「世界遺産登録に向けて」「学校教育について」○特別支援教育の充実について○教員の労働環境整備について○第二中学校・大船中学校の改築について○保護者と学校の問題解決について○子ども達の発達への支援と子育て相談の充実について○高齢者福祉について○障害者の就労支援について
渡邊 隆	「行財政改革について」「地域医療について」

## 地域コミュニティの活性化について

**地域コミュニティの活性化について、次のような視点から質問が行われました。**  
**【地域福祉のネットワーク】**  
 質問：本市の地域福祉計画の進捗状況を教えてください。  
 部長：地域福祉計画に基づき昨年度に学識経験者や市民からなる支え合う地域プロジェクトチームを立ち上げ、行動計画実現に向け協議を行ってまいりました。  
 質問：支え合う地域プロジェクトチームの協議の中で検討されている（仮称）地域福祉支援室について教えてください。  
 部長：市と社会福祉協議会と共同で（仮称）地域福祉支援室を設置し、専任のコーディネーターを配置する計画である。また、今後段階的に各地域に担当のコーディネーターを配置し、支援室のコーディネーターと連携して地域内の課題解決に当たっていきたくと考えている。  
 質問：地域のひとと人をつなげるキーパーソンであるコーディネーターの重要性と地域福祉について市長の考えを聞きたい。  
 市長：地域福祉の推進役であるコーディネーターは大変重要と認識している。地域の活動と行政との連携により、だれもが安心して住み続けられる地域づくりを推進したい。

## 青少年の育成について

**青少年の活動支援と育成について、次のような視点から質問が行われました。**  
**【青少年活動支援】**  
 質問：複数の子供たちから、健全育成や青少年育成という言葉は、大人が青少年に対して育成しているという感じを受けると思いませんか？  
 部長：青少年の健全育成という言葉を使わずに、活動支援という言葉を使っていきたく、という考え方は大変共感できる。これまで私たちが使ってきた言葉には、子供たちにきちんと育ってもらいたいという願いが込められていると思っています。しかし、青少年の側から、規制されているとか、監督されているとかいった印象があるのであれば、それを払拭するようなPRや事業活動が必要であると思う。青少年の育成のための事業を展開していく中では、青少年の活動を支援していくような姿勢を強く出していきたくと思う。  
**【青少年の育ち合いの場】**  
 質問：子ども部で行っている遊びのイベントは、参加者が多いということを知っていますか？  
 部長：子ども部で行っている遊びのイベントは、参加者が多いということを知っています。そのうち、親との関係、青少年会館の利用などについて聞いています。



オペレッタの練習風景・玉縄青少年会館にて

**【青少年育成総合意識調査】**  
 質問：先ごろ青少年育成総合意識調査が行われた。この調査では、対象者の生活状態、食事の取り方、家族との暮らし、親との関係、青少年会館の利用などについて聞いています。

## 障害児者への支援について

**【地域と学校の連携】**  
 質問：防犯パトロールやわんわんパトロール、声かけ運動などの地域活動と学校との協働の取り組み状況はどうですか？  
 部長：学校は地域の団体に下校時間等を知らせ、協力をお願いしている。今後、各活動が有効に働くよう、学校が中心となり調整を図るなど検討したい。  
 質問：子供を育てていく地域コミュニティが衰弱しているとの話を聞きます。本市では地域の方の協力があるが、今後とも地域と連携し地域全体として防犯体制をより充実させてほしいがどうか？  
 部長：学校、保護者及び地域の方の地域内のコミュニティの活性化に向け、郵便局や新聞販売店等事業者の協力も得ながら地域全体の取り組みを推進したい。  
**【コミュニティのあり方】**  
 質問：大町地区と玉縄地域で行われている地域コミュニティのモデル事業に共通の課題はあるか？  
 部長：大町地区では現在、自治連合会、市民、学生等により地域防災マップを作成している。今後は防犯や福祉の視点を盛り込んだ総合版の地域カルテの作成を目指している。玉縄地域では自治・町内会連合会、地域の団体、市民等により、地域コミュニティサイトの構築に向けた準備が進められている。共通の課題は担い手が少ないことである。  
 質問：地域ごとの土地利用シヨンの活性化に向け、郵便局や新聞販売店等事業者の協力も得ながら地域全体の取り組みを推進したい。

## 陳情の議決結果 3件を採択、2件を不採択

**【採択した陳情】**  
**◆浄明寺一丁目の市有青地の保全を求める陳情**  
 陳情の要旨は、釈迦堂口切通に連なる山林の一部に当たる市有青地の浄明寺一丁目六〇番三及び六〇番四の二筆の土地は、歴史的風土特別保存地区に隣接する土地であり、やぐらを包蔵する土地であり、市街化区域から市街化調整区域に変更し、最終的には歴史的風土特別保存地区として保全することについては、次の線引き見直しの際に、市街化調整区域の変更の方で向て神奈川県と協議していくこと、歴史的風土特別保存地区の指定については、長期的な課題として神奈川県と相談していきたくとのことである。  
 市長：行政としては、子供たちが健やかに心豊かに暮らせる町をつくるのが使命であり、大人たちの責任ではないかと思っている。中期実施計画の中で、青少年健全育成プランを早期に策定し、その中で青少年の育成に取り組みしていきたい。

**【今後の青少年育成】**  
 質問：鎌倉市では年少の子供の人口が増加している。喫緊の課題として、子育て支援、保育環境の充実が求められるが、数年たてば義務教育の充実、さらに数年たてば青少年育成の課題克服が今以上に求めらる。今のうちに、早い段階で青少年育成のあり方を確立しておくべきかと思うが、どうか？  
 市長：行政としては、子供たちが健やかに心豊かに暮らせる町をつくるのが使命であり、大人たちの責任ではないかと思っている。中期実施計画の中で、青少年健全育成プランを早期に策定し、その中で青少年の育成に取り組みしていきたい。

## 市議会ホームページ

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm

市議会議員の紹介の他、議会の流れ、傍聴方法、議会の日程などをお知らせしています。

本会議中継システムでは本会議の生中継及び録画中継の映像が、会議録検索システムでは本会議や委員会の会議録がご覧いただけますので、どうぞご利用ください。

## かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内

鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、議会だよりの音声版(収録テープ)と点訳版を作成しています。ご利用希望の方は、お申し出ください。

お問い合わせ先 248-8686 鎌倉市御成町18番10号 議会事務局議事調査担当 電話：0467(23)3000 内線2448 FAX：0467(23)5825

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。 電話：0467(23)3000 内線2448

## 議会を傍聴してみませんか

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

**本会議の傍聴**  
 本会議当日に、市役所議会議事棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

**常任委員会・特別委員会等の傍聴**  
 委員会当日に、市役所2階の議会事務局で申し込みをさせていただきます。なお、席に限りがありますので先着順になります。当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。 電話：0467(23)3000 内線2448

## 請願・陳情の提出について

皆さんの意見や要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として、請願と陳情があります。

**請願と陳情の違い**  
 請願は1人以上の紹介議員の署名が必要です。（陳情には必要ありません。）

**提出の締め切り**  
 提出はいつでもできますが、各定例会の初日の前日までに提出されたものはその定例会で審査をし、期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会で審査します。

平成21年2月定例会の受付期限 2月17日(火)

※提出に当たっては、所定の様式がありますので、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。電話0467(23)3000 内線2448



鎌倉ふれあいショップ・大船駅前にて

おり、今年度は二十七社、四十七人が見込まれている。企業を中心とした事業所に支給していた範囲を就労支援事業者にも拡大したい。質問：地域作業所の状況はどうなっているか？  
 部長：現在、市内に十二カ所あり、二百人を超える障害者が利用している。  
 質問：作業所でつくられた作品を販売する鎌倉ふれあいショップの開催状況はどうか？  
 部長：市役所本庁舎ロビーで開催されている。質問：市が助成する障害者雇用奨励金制度の利用状況を聞きたい。また制度の拡大の予定はあるか？  
 部長：知的障害者、精神障害者を雇用した事業主に對し、障害者一人につき月額三万円以内の報奨金を支給してと受け止めている。  
 質問：地域には自治会、町内会等の地縁組織のほか様々なテーマを持った住民の活動団体がある。コミュニティを地縁組織より大きな、活動団体を含めた地域性のあるものと捉えた自治型のコミュニティは目指すものか？  
 市長：地方分権の議論がまだまだとまっている中で、行政としては現実問題として日々生活しているコミュニティをいかに作り上げるかという視点で取り組んでおり、自治型のコミュニティは目指すものうちのひとつと考えている。今後とも地域の皆さんとコミュニティのあり方について議論を重ねていきたい。

# 議決された主な議案

今定例会では、市長から提出された議案十七件を可決、議案一件に同意、報告三件を了承しました。主な内容は次のとおりです。

## 《条例の一部改正》

### ◎鎌倉市国民健康保険条例

社会問題化している周産期医療について、産科医療補償制度が創設され、平成二十一年一月から分娩機関が一分娩当たり三万五千円の保険料を財団法人日本医療機能評価機構に支払うこととなり、このため被保険者等が出産に際して負担する費用の増加及び健康保険等における出産育児一時金の支給額が引き上げられることを踏まえ、出産育児一時金の支給額を、現行の三十五万円から三十八万円に引き上げようとするもので、平成二十一年一月一日から施行し、同日以後の出産から適用しようとするものです。

### ◎鎌倉市事務分掌条例

まちづくり政策に関する企画立案や調整を行う組織として、まちづくり政策部を新たに設置するとともに、都市計画課をまちづくり政策部に移管するため、現行の都市計画部を都市調整部に、小学校就学前から青年期までの継続した施策を展開する観点から、青少年課を教育委員会からこども部に移管するため、現行のこども部をこどもみらい部に名称を変更し、これらの組織編成に基づいて、各部の事務分掌を改めようとするもの

### ◎鎌倉市税条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

### ◎鎌倉市営住宅条例

## 全員協議会



今定例会前の十一月二十五日に、市長から次の報告を受けました。

下水汚泥と生ごみ等を混合処理する整備手法については、一般廃棄物処理事業と下水道事業の共同事業であり、国土交通省の新世代下水道支援事業制度や環境省の循環型社会形成推進交付金制度をあわせて活用できると考えている。

この事業の総本数は二百五十六本、下水道事業を除いて二百三十七本、事業費は五百四十五億円、下水道事業を除くと四百四十四億円の事業を採択している。また、前期実施計画における事業は二百五十四本であったが、中期実施計画では、前期実施計画からの継続事業は二百二十二本、新規事業は四十四本を採択している。

今後、「広報かまくら」等により、中期実施計画の概要を周知するとともに、並行してこの計画のWEB版策定に取り組み、六月定例会に報告する予定である。

議事では、これらの報告を了承しました。

議事では、これらの報告を了承しました。

議事では、これらの報告を了承しました。

### ◎鎌倉市総合計画第二期基本計画

平成二十一年度から二十五年度を計画期間とする中期実施計画においては、少子高齢対策の推進、安全安心まちづくり対策の充実及び地域の活性化と拠

点を整備を重点施策とし、地域ぐるみで市民生活を守り、地域の活力を創出する事業を重視した。

この事業の総本数は二百五十六本、下水道事業を除いて二百三十七本、事業費は五百四十五億円、下水道事業を除くと四百四十四億円の事業を採択している。また、前期実施計画における事業は二百五十四本であったが、中期実施計画では、前期実施計画からの継続事業は二百二十二本、新規事業は四十四本を採択している。

今後、「広報かまくら」等により、中期実施計画の概要を周知するとともに、並行してこの計画のWEB版策定に取り組み、六月定例会に報告する予定である。

議事では、これらの報告を了承しました。

### 指定管理者の指定について

以下三件を総員の賛成で可決。

○鎌倉子育て支援センター、深沢子育て支援センター及び大船子育て支援センターの指定管理者を社会福祉法人新生命に指定。

○鎌倉海浜公園、源氏山公園、散在方池森林公園、鎌倉中央公園、六国見山森林公園、夫婦池公園及び街区公園の指定管理者を財団法人鎌倉市公園協会に指定。

## 補正予算

緊急経済対策の経費を盛り込んだ補正予算議案三件が提出され、審議の結果、各議案は総員の賛成で可決しました。

### ◆一般会計

歳入歳出いずれも二億七千七百七十万円を追加するもので、補正後の総額は五百六十六億四千五百八十万円となり、主な内容は次のとおりです。

総務費：深沢支所等の維持修繕の経費  
民生費：障害者就労支援事業に係る経費  
衛生費：名越及び深沢クリーンセンターの維持修繕の経費  
労働費：三市一町合同の就職説明会開催に伴う経費  
農林水産業費：農業者に対するたい肥購入費等助成の経費  
商工費：中小企業融資に係る信用保証料補助金等の経費  
土木費：道路舗装工事に伴う経費  
消防費：深沢消防出張所の維持修繕の経費  
教育費：小・中学校の学校図書購入の経費

特別会計の補正後の総額は次のとおりです。

◆下水道事業特別会計  
百十億四百八十万円  
◆国民健康保険事業特別会計  
百五十七億八千二百万円

## 人権擁護委員

次の方の推薦についての議案に同意しました。

- 堀 美重子氏 (梶原在住)
- 小林 正子氏 (今泉台在住)
- 立川 英男氏 (雪ノ下在住)
- 平本 恭子氏 (由比が浜在住)
- 山田 隆二氏 (笹田在住)
- 杉山 昌美氏 (笹田在住)
- 入野 裕江氏 (笹田在住)
- 富樫 清氏 (津在住)

## 特別委員会

観光ナビシステム整備事業 調査特別委員会

調査を終了

観光ナビシステム整備事業 調査特別委員会 調査を終了  
観光ナビゲーションシステム整備事業に伴う事実関係解明に関する調査特別委員会では、平成十五年年度に、地域IT活用型モデル事業として本市が国の交付金を活用して当該事業を実施するに当たり、本市議会議員が都内にあるIT関係事業者を本市に紹介したこと及び事業を受託した市内に本社のある事業者の相談役に就任していたことなどの事実関係の調査を行いました。委員会では、書類調査のほか、当時の市の担当者や事業者から事業実施に当たった状況を聴取するなど、調査を行った結果、議員がIT関係事業者を本市に紹介したこと道義的責任の有無については、結論は一致せず、

岡本二丁目マンション計画 調査特別委員会

岡本二丁目マンション計画 調査特別委員会  
岡本二丁目マンション計画許可取り消し等に関する調査特別委員会では、神奈川県開発審査会により二度にわたり許可取り消しの判決を受けた問題を解消するため、現在、参考人として事業者及び近隣住民から当時の状況の聴取するなど調査を進めています。

## 編集後記

本年初めての議会だよりをお届けします。昨年九月の米国証券会社の破綻から始まった世界的な不況の波は日本にも大波となつて押し寄せています。雇用問題などが報道されない日はなく、生活のあらゆる場面に影響が出てきています。

### 議会広報委員会

- 委員長 高野 洋一
- 副委員長 前川 綾子
- 委員 早稲田夕季
- 委員 久坂くにえ
- 委員 納所 輝次
- 委員 石川 寿美